



協力し合って迎えられた40周年 これからもおいしい豆を届けたい 母ちゃんたちが元気に運営する「だだちゃ豆直売所」

鶴岡市白山にあるJA鶴岡大泉支所駐売場の一角に、夏の間に開設される枝豆「だだちゃ豆」の直売所があります。運営しているのはJA鶴岡女性部の大泉枝豆直売グループの会員16人。朝採りの新鮮な「だだちゃ豆」を求めて、県内外から大勢の方が訪れる人気店です。全員が60〜80代のお母さんたちで、生産はもちろん、毎日交代で店頭に立ち、お客様対応まで担当します。

鶴岡の夏を代表する「だだちゃ豆」は、さやに茶色の産毛があり、豆のくびれが深く、独特の甘みと濃厚な風味が特徴です。江戸時代から地域で大切に守られてきた在来作物で、デリケートで傷みやすいため、長年地元のみで愛されてきましたが、近年は冷蔵輸送技術が進み、全国の消費者に向けて届けられています。

「だだちゃ」とは、庄内地方の方言で「お父さん」という意味。庄内藩の殿様が大変な枝豆好きで、毎日家臣に持ち寄せた「今日はどのだだちゃの枝豆か？」と聞いていたことから、いつしか「だだちゃ豆」と呼ばれるようになったと言われています。（諸説あり）

同グループで販売しているのは収穫の早いものから小真木・早生甘露・甘露・早生白山・白山の5品種。それぞれ風味が異なるので、お好みの味を見つけ



今年は7/20にオープンしました。

てみてはいかがでしょうか？大泉枝豆直売グループは、水田転作でだだちゃ豆の作付が増えてきた昭和55年に、女性有志3人で「枝豆直売所」を開いたのが始まりでした。すぐに売れ切れてしまうため3人がそれぞれ5人を誘い、18人のメンバーでグループを発足しました。その翌年から大泉地区のJA女性部（当時は婦人部）活動の一環として運営しており、生産者が直接販売する直売所としては庄内で一番早く開設されました。

「高値ならず安値ならず、良品を持って売りましょう。自分が食べて美味しい豆を売りましょう」の精神を大切に、今年で40周年を迎えました。

グループ代表の松浦正子会長（79）は「会員が真心を込めて育てただだちゃ豆をお客様に笑顔で販売したい。皆さんからおいしいねと言ってもらえるように、これからもおいしいだだちゃ豆を作っていきたい」と優しい笑顔で語ってくれました。

イベント 盛りだくさん!

だだちゃ豆

送料 全国一律 900円 (税込)

期間 8/1(木)〜8/31(土)

- 1か所あたり／だだちゃ豆1kg以上
- だだちゃ豆以外は同梱できません。

お米の送料半額キャンペーン

店内のお米10キロ以上発送の場合

期間 8/31(土)まで

- 1か所あたり／25kgまで
- お米以外の商品は同梱できません。

たまる! たまる!! ポイント2倍デー 毎週月曜日 (3店舗共通)	良質のお肉が安い! 肉の日 ● 白山店: 9のつく日 ● 駅前店: 毎週日曜日 ● のぞみ店: 毎週土曜日	精米料が5%お得! 店頭精米の日 ● 白山店: 毎月18日 ● 駅前店: 毎月28日 ● のぞみ店: 毎月8日	牛乳のポイントが5倍! 牛乳の日 ● 白山店: 毎週木曜日 ● 駅前店: 毎週金曜日 ● のぞみ店: 毎週金曜日
---	---	---	--

地元の農産物を食べる事で地元農家を応援しよう。

白山店 鶴岡市白山西野191-2 TEL 0235-25-6665 営業時間 9:00〜18:00		駅前店 鶴岡市日吉町3-3 TEL 0235-22-0202 営業時間 9:30〜18:00		のぞみ店 鶴岡市のぞみ町8-52 TEL 0235-35-1477 営業時間 9:30〜18:00	
---	--	--	--	---	--

定休日 ● 7・8月は無休 ● 9月〜翌6月は毎月第2水曜日
 ● 翌1月〜3月は3店舗ともに9:30〜17:30営業

詳しくはもとあ〜るのホームページをご覧ください <https://montearl.com>

JAカードのご利用で 5% 割引に!

もんとあ〜る3店舗が対象で、JAカードで支払うと請求時に5%割引されます。

読者プレゼント

ここまでお読みいただいた皆様の中から抽選で10名様に「もんとあ〜る」各店で使える「JA鶴岡お買い物券1000円」をプレゼント。(大泉だだちゃ豆直売所では使用できません)

ハガキに住所、氏名、電話番号を明記の上、次のあて先にお送りください。紙面の感想などを添えていただければ幸いです。

締切は2019年8月31日(土)の消印まで有効

●あて先
〒997-8558 鶴岡市日吉町3-1
JA鶴岡 総合企画課
『ばさらん』プレゼント係 宛

JA鶴岡の取り組みをご紹介します

JA鶴岡では、農家の営農支援や、市民を対象にした食農教育に取り組んでいます。

5.20 あぐりセミナー 第1回 「プランターで気軽にできる野菜づくり講座」

食と農への理解を深めてもらうことを目的に、楽しみながら学んでもらおうと、プランター栽培講習を行い、組合員や市民36人が参加しました。

JA営農指導員が講師を務め、プランターで栽培するミニトマトを中心に、ナス、キュウリの栽培方法を教えました。



ミニトマトの芽かきのコツを学ぶ参加者。

青年部の食農教育活動

JA鶴岡青年部は、次世代を担う子どもたちに農業体験を通じて、農業の魅力を伝えるための食農教育活動に取り組んでいます。

5.30



北支部

米保育園の園児と
さつまいもの苗を植えました。



6.4 南支部

斎小学校の児童と
大豆の種をまきました。



上郷支部

上郷保育園の園児と
枝豆の苗を植えました。

6.21



枝豆の共選施設稼働で 農家の負担を軽減

JA鶴岡では枝豆の生産維持拡大に向け、今年の7月から共選施設を稼働しました。選別、計量、包装等の作業をJAが受託し、農家の負担を軽減。農家の高齢化や労働者不足に対応します。

施設には色彩選別機や計量包装設備などを導入。JAでは枝豆の選別、計量、包装を行い出荷します。



枝豆選別包装施設の説明を受ける生産者。

7.13 あぐりスクール 第1回 「“メロン”のひみつをさぐれ!」

農業や食への理解・関心を深めてもらうと小学3～6年生の児童とその保護者を対象にメロンの収穫体験と選果場見学を行い、親子15組47人が参加しました。

次回は8月24日（土）にだだちゃ豆の収穫体験を予定しています。



だ だちや豆の種まきは4月中旬頃から始まり、す。グループの豆を守るために、種子は会員の中で採種しています。収穫は7月下旬から、休みなく9月上旬まで続きます。だだちゃ豆は暑さに弱いので、早朝（早い人は2時から！）に収穫することで鮮度を保ちます。まだ太陽が



だだちゃ豆農家の朝は早い。暗闇の中、ライトで照らしながら収穫します。

や圃場（ほじょう）巡回を定期的に実施して、常に最新情報を収集しています。朝8時から直売所では集荷が始まり、当番が会員の枝豆を検査したあと、売り場には続々と商品が運び込まれます。今では珍しく

昇らない時間帯にはライトで照らしながら作業します。収穫が終わるとすぐ作業場に運び、機械で枝からさやを取り水洗い。その後、機械選別したただだちゃ豆をコンベヤーに流し、さらに人の目でひとさやずつ厳しく選別して袋詰めを行います。松浦会長は「天候に生



圃場巡回では、生育状況などを確認しています。

なった枝付きのだだちゃ豆も直売所の名物で、少量ですが毎朝店頭に並びます。8時半の開店時間が近づくと、待ちわびたお客様が列を作ります。中には「だだちゃ豆は甘みがあっておいしい」、「毎年何度か買いに来ている」と話すリピーターのファンも。前会長の五十嵐寿美子さん（79）は「お客様からのうれしい、という一言が励みになり今年も頑張っている」と話します。立ち上げからのメンバーである佐藤トシさん（81）は「会員同士仲良く、JAの力を借りながら、生産から販売まで一人一人が責任を持って取り組んできたから40周年を迎えることができた」と自信を持

って話します。松浦会長にグループが大切にしていることを伺うと、「個人ではなくグループとして売っていること。皆で決めたことを守り、問題が起きたらすぐに臨時会議を開いて解決方法を皆で考えているよ」と教えてくれました。直売の活動ができるのは家族の支えがあってこそ。副会長の佐藤和子さん（80）は「家族皆で協力して栽培しているので、家族の健康にも気を付けたい」と話します。そして会員たちは「グループに入って良かった」と揃って口にします。「収入が安定していることはもちろん大事なことだけど、曲がっている腰もしゃんとするほど直売所に来る日は元気になるよの」と盛り上がり、「40周年



機械で選別しただだちゃ豆をひとさやずつ手作業で選別します。

「だだちゃ豆は鮮度が大事。お客様のおいしい、の一言が励みになる」

大泉だだちゃ豆直売所

住所／鶴岡市白山字西野191
（JA鶴岡大泉支所 駐車場内特設店舗）
☎0235-29-7865
営業時間／8:30～
15:00以降なくなり次第終了
営業期間／7月下旬～8月上旬（毎日営業）
ホームページ／<http://ooizumi-dadacha.jp/>

のごほうびに旅行にいきたい」と笑い合います。「忙しい毎日だけど、この時期になると皆生き生きとして、輝いている」と笑顔で話す松浦会長。直売所には、お客様からの「おいしい」の言葉を励みに、生き生きと輝く母ちゃんたちの姿があります。